



練馬区立石神井西小学校
 学校通信 学校評価特別号
 令和4年3月発行

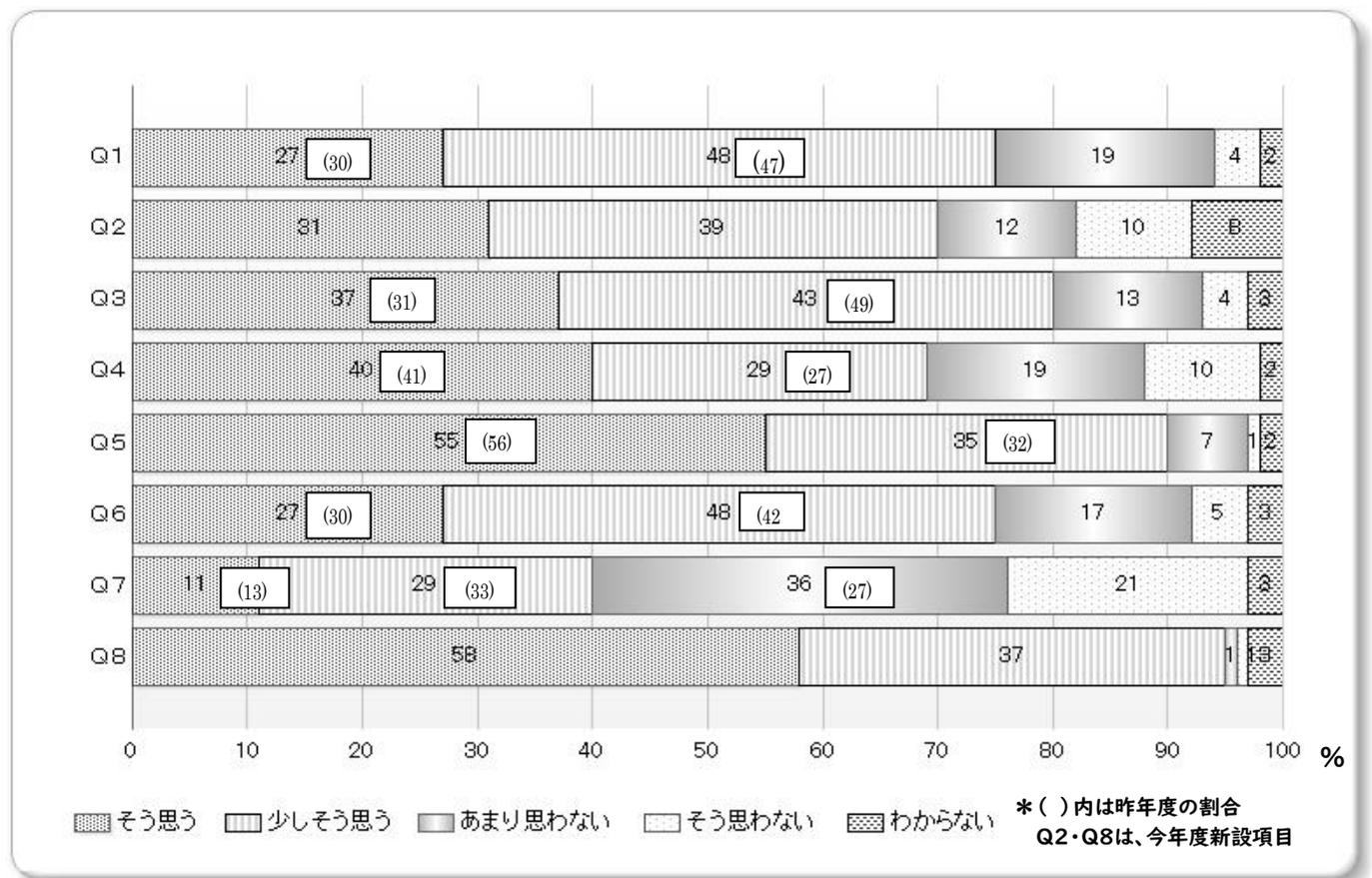
日頃より、本校の教育活動にご理解をいただきまして、誠にありがとうございます。また、学校評価アンケートにもご協力いただきまして、心よりお礼を申し上げます。

集計がまとまりましたので、お知らせいたします。この結果を教育活動改善のための貴重な資料とさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

令和3年度 学校評価アンケート

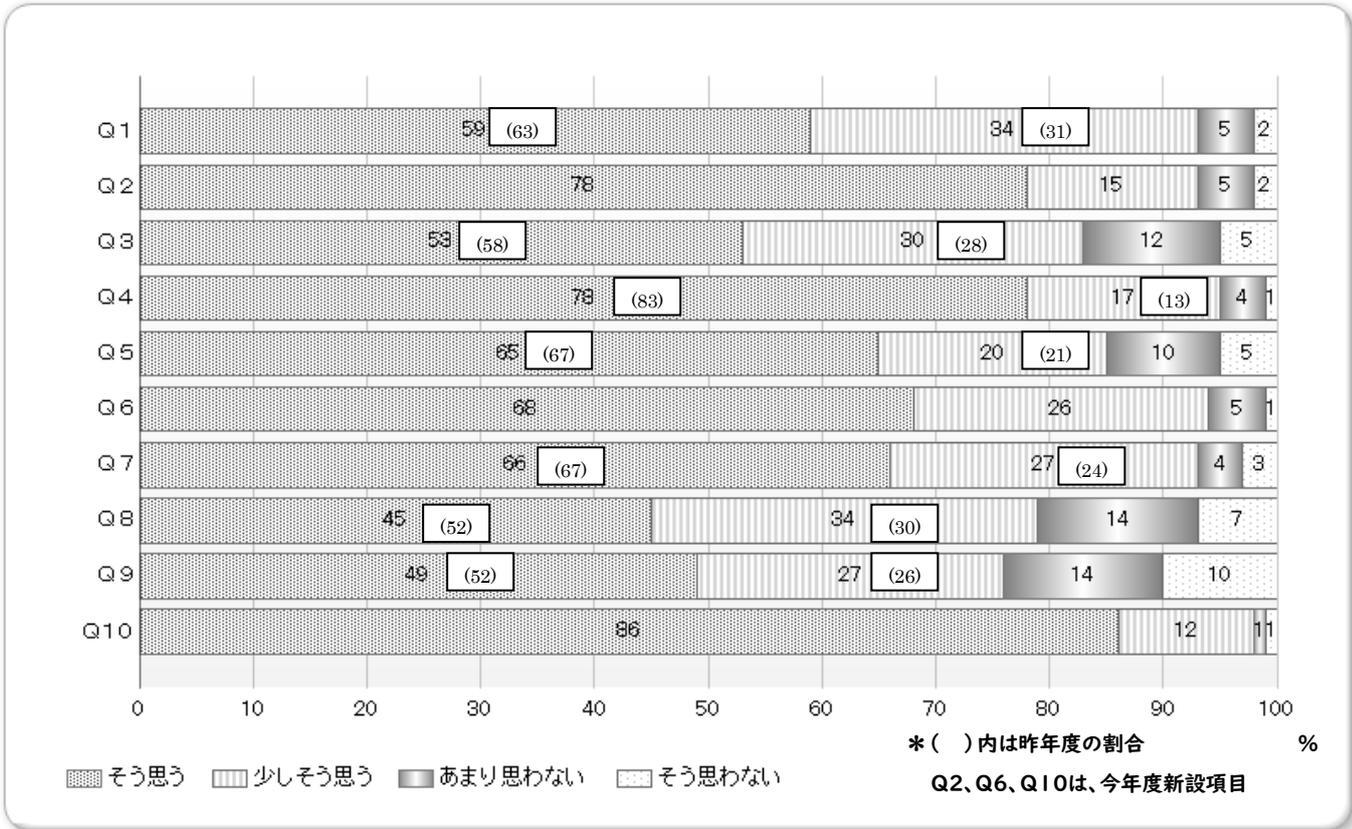
《保護者アンケート結果》

回収率 76.4%



- Q1 子供は、人の話をしっかり聞いている。
- Q2 子供は、タブレットを学習に活用している。
- Q3 子供は、学習に意欲的に取り組んでいる。
- Q4 子供は、外で元気に遊んだり、すすんで運動したりしている。
- Q5 子供は、楽しく学校に通っている。
- Q6 子供は、自分からすすんであいさつをしている。
- Q7 子供は、身の回りの整理整頓ができています。
- Q8 学校は、コロナ感染症予防の対策をしている。

《児童アンケート結果》



- Q 1 人の話をしっかり聞いている。
- Q 2 タブレットを学習に活用している。
- Q 3 学習のまとめを自分で考えて書いている。
- Q 4 体育の授業では、一生懸命運動している。
- Q 5 学校は、楽しい。
- Q 6 給食の時間には、黙って準備をしたり、食べたりしている。
- Q 7 自分からすすんであいさつをしている。
- Q 8 廊下のフックや教室のロッカーの整理整頓ができています。
- Q 9 自分には、良いところがあると思う。
- Q10 コロナに感染しないように気を付けている。(マスク・検温など)

《保護者、児童アンケート結果に関する考察》

()内は昨年度の割合

1、学習について

*「児童の話の聞き方の向上」に関しては、保護者からは「そう思う」「少しそう思う」を合わせた肯定的評価は75%でした。また、児童の自己評価でも肯定的評価は93%という結果となりました。どちらも昨年度とあまり変化のない結果で、児童が話を聞くときに「3つのめあて」を意識していることが分かりました。今後も、児童の話聞く姿勢や意識がさらに高まるように努めてまいります。

*「タブレットの活用」に関しては、今年度新たに設置した項目でした。タブレットが有効に活用されているかどうかの肯定的評価は、保護者が70%で児童が93%と、児童と保護者の評価差が大きく表れる結果となりました。保護者アンケートのご意見からも、タブレットの良さを肯定する反面、学習以外の使用が増えて困っている等のタブレットに対する否定的な回答が寄せられました。タブレットを活用した学習が、効果的な学びに繋がられるよう、授業改善に努めてまいります。

*「学習への意欲的な取り組み」に関しては、保護者からの肯定的評価は80%となり、昨年度と同じ結果となりました。児童の「学習のまとめを自分で考えて書いている」に対する肯定的評価は83%となっており、安心できる結果とはなりません。児童が学習をスムーズに振り返ることができるような分かりやすい授業を心掛け、授業改善に努めてまいります。

2、運動・体力について

*「外遊び、運動への取り組み」に関しては、保護者からの肯定的評価は69%で児童への運動不足を懸念する様子が分かります。一方、児童の体育の授業への取り組みは95%を超える児童が肯定的に回答しています。休み時間は外遊びを励行してまいりましたが、コロナ禍で運動への制限もあり、運動の量を確保することができない実態もありました。状況に合わせてながら、運動や外遊びに親しむ環境作りに取り組んでまいります。

3、生活について

*「子供は楽しく学校に通っている」に関しては、保護者・児童ともに肯定的な評価が90%ほどあるというのは、この2年にも及ぶコロナ禍の中、驚くほど高いと言えるのではないのでしょうか。保護者の皆様からはタブレットに関するご意見やご感想が多数寄せられました。本校では令和3年度、タブレットを生かした学習方法を校内研究として取り組んでまいりました。今後さらに研鑽を積み、子供たちにとって魅力ある、よりよい授業実践を行ってまいります。

*「すすんであいさつをしている」に関しては、75%の保護者、93%の児童が肯定的な評価をしていて、昨年とほぼ同様です。学校では、よい挨拶の具体的な姿として「①自分から②顔を見て③元気な声で④笑顔で」を示し、指導しています。また、ふれあい月間(6月・11月・2月)は、挨拶や会釈への意識を高める指導を行っています。しかし、「自分からすすんで」のところが依然として不十分だと認識しております。マスク着用が常態となっているため、お互いに表情が分かりにくくなっておりませんが、明るい挨拶を心がけていきたいものです。ご家庭でも挨拶や返事、言葉遣いなど社会へ出ても通用するマナーが身につくようご指導をよろしく願います。

*「身の回りの整理整頓」に関しては、保護者の肯定的評価が40%なのに対し、児童のそれは79%で、大きな開きが出ました。教員の実感としては保護者側に近いと感じております。児童によって個人差があるのはもちろんですが、「使った物を元の場所にきちんと戻す」ことができるかどうかのポイントになっているように思います。片付けのイロハのイですが、子供たち自身に気付かせるようにしていくことが大切だと考えます。そして、気付いたことを褒めていくことが案外近道なのかもしれません。

4、新型コロナウイルス感染症の予防について

*「黙って給食の準備をしたり、食べたりしている」に関しては、校長が「練馬区一、いや、東京一静かな給食時間」と評価するほど、子供たちは感染防止を意識して取り組んでいます。今後も手洗いやアルコール消毒の徹底と合わせて取り組んでまいります。

*「コロナ感染症予防対策」に関しては、保護者・児童ともに95%以上が肯定的な評価をしています。毎朝の検温や健康観察表への記入、メールでの欠席連絡など、保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

5、その他

*「自分には良いところがあると思う」に関しては、76%の児童が肯定的に回答しています。昨年度より2ポイント下がっていますがほぼ横ばいといってよいでしょう。学習活動や学校行事が制限される中、自分のよさを発揮できる場が狭まっているのは否めません。日常生活の中で「減点式でなく加点式で褒める。」「出来るようにして褒める。」「当たり前前の方が、当たり前前にできるかっよさを認める。」等、成功体験を増やしていきたいと思っております。

《保護者の皆さまからのご意見》

☆タブレットについて

①持ち帰りについて

- ・タブレットや教科書で、ランドセルが重く、体の負担にならないか心配している。
 - ・家庭学習で使わない教科書かタブレットを学校保管にしてほしい。
- [学校より]
- ・家庭学習で使わない教科書類については、教室に置いて帰ることにしています。今後は、家庭学習の内容を工夫したり、タブレットを使わない日は学校に持ってこないようにしたりするなどして、お子さんの負担にならないようにしてまいります。

②宿題や翌日の連絡について

- ・宿題の掲載時刻がまちまちで分かりづらい。早めに掲載してくれないと、宿題をやる時間が遅くなってしまう。
 - ・宿題は連絡帳に書くほうがよかった。
- [学校より]
- ・宿題等の連絡については、タブレットへの掲載の時刻をできるだけ早めに行ったり、学年によっては連絡帳を活用したりするなどして、お子さんの帰宅に合わせて連絡できるよう工夫してまいります。

③使い方について

- ・保護者の目の届かないところでのタブレットの使い方が気になる。
 - ・やることがないとすぐにタブレットを開いて見入っている。時間の使い方として安易でもったいないと思う。
 - ・クラスルームで友達のコメント等を見る時間が長くなっており、良くないと思う。
 - ・視力の低下が気になる。
- [学校より]
- ・タブレットの使用は、学習に関係することのみという約束事がございます。学校でも使い方については指導し、確認してまいります。ご家庭でも使用時間や使用する場所等、約束事を作ってお子さんと一緒にタブレットの管理をしていただきますよう、お願いいたします。

☆学校公開について

- ・学校での普段の様子を見る機会がほとんどなくなっており、様子が分からない。日頃の子供たちの様子を見たい。
- [学校より]
- ・コロナ禍のため、学校公開の回数や時間的な長さに制限を設けさせていただきました。状況を見て以前のような形に近づけていきたいと考えています。学校ホームページや学年便り、学級便りなどを活用して、少しでもお子さんの様子が伝わるように工夫してまいります。